

6月定例会

新型コロナウイルス対策に4回の補正予算

令和3年第2回定例会は6月1日から6月18日までの会期で開催されました。初日の本会議では、専決処分された一般会計補正予算（第2号）の報告や、市税条例の一部改正、一般会計補正予算（第3号）など5件の議案が市長から提案され、最終日には、新たに手数料条例の一部改正および一般会計補正予算（第4号）の2件が提案されました。提案された全ての案件の件名および審議結果などは最終面「令和3年第2回定例会の会議結果」とのとおりです。ここでは一般会計補正予算の概要を報告します。

一般会計補正予算

（第1号～第4号）

補正予算（第1号）では、低所得のひとり親世帯を支援するための子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）や、新型コロナウイルススワクチン接種事業に関する費用が計上され、4月22日に開かれた第2回臨時会で全員賛成により原案可決されました。

6月定例会初日に専決処分の報告がされた補正予算（第2号）では、第2回臨時会で可決された給付金の支給対象を拡大した子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）や新型コロナウイルススワクチン接種会場などへの来場支援に関する経費が計上され、全員賛成により承認されました。

また、同日に提案された補正予算（第3号）では、コミュニティ助成金を活用した自治会への補助、民間認可保育所の新設に対する補助、小中学生の修学旅行費への補助の拡充に関する費用などが計上され、全員賛成により原案可決されました。

さらに、6月定例会最終日に提案された補正予算（第4号）では、社会福祉協議会による総合支援資金の再貸付が終了するなどした方に対する新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付や、住宅リフォーム助成に関する費用が計上され、全員賛成により原案可決されました。

補正予算（第3号）の予算決算常任委員会分科会での審査概要は次のとおりです。

総務分科会

問 歳入のコミュニティ助成金は、どこから交付されるものでしょうか。

答 自治会から要望を受けて、市で取りまとめ、県を通じて申請し、一般社団法人自治総合センターから交付されるものです。今年度は、サンパルク650自治会と浜田自治会が対象となっています。

問 自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して、自治会へどのような補助を行うのですか。

答 今回の補助内容は、音響設備のほかAEDや発電機など、緊急時や災害時の活動に必要な物品の整備です。

問 Web会議などの推進に伴う端末機器の整備目的などについて伺います。

答 コロナ禍ということもあり、Web会議の需要は高まっています。例えば、市が主催する市民向けの会議や官公庁との会議などに利用することを想定しています。

問 整備する端末機器のセキュリティ対策について伺います。

答 庁内ネットワークから切断するような方策を検討しています。また、常時リリースされるパッチなどを随時更新し、インターネットの接続先についても制限するようアクセス環境を構築します。さらに、盗難された場合などに、速やかに端末機器にロックがかかる対策も講じていきます。

文教社会分科会

問 小中学生の修学旅行の費用補助の対象になる、感染防止対策の内容を伺います。

答 修学旅行中の密接や密着を避けるために講じるもので、例えば、▽見学のために電車やバスなど公共交通機関を使用していたケースを貸し切りバスやグループごとのタクシー利用に変更する▽宿泊先の部屋数を増やし、1部屋当たりの人数を減らし密を避ける▽感染症対策の用品を充実させることなどを考えています。

問 学童保育支援事業費の補正予算を計上した経緯を伺います。

答 市内の学童保育事業者から、海老名小学校区において学童保育クラブの新設をしたいという申出がありました。海老名小学校区は、令和3年度の利用推計においても学童保育クラブを必要とする学校区であり、今後も需要が見込まれることから、海老名市学童保育クラブ開設促進事業補助金を活用して、開設に係る経費を補助するため、計上しました。また、開所は令和3年9月を予定しており、運営に関わる必要な経費、新型コロナウイルス感染症防止対策に関する経費、学童保育クラブにおけるICT化推進に関する経費も補助します。

問 民間保育所施設補助事業費について、中央地域に新設する民間保育所の開設時期、児童の募集時期と主な補助の内容を伺います。

答 民間保育所は令和4年4月1日に開設を予定しており、児童の募集は今年の秋頃から始まります。主な補助の内容は、運営するための施設の工事費、運営するための施設の工事費への補助になります。

